

2019年8月6日

各位

小野薬品工業株式会社

**小野薬品の温室効果ガス削減目標が
「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の承認を取得**

小野薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役：相良暁、以下、当社）は、当社の環境ビジョン（ECO VISION 2050）に基づいて策定した中長期的な温室効果ガス削減目標が、国際的な環境団体であるScience Based Targets (SBT) イニシアチブからの承認を取得しましたので、お知らせします。

SBTイニシアチブは、環境情報の開示に関する国際NGOであるCDP、国連グローバル・コンパクト（UNGC）、世界自然保護基金（WWF）、および世界資源研究所（WRI）によって設立された国際的な共同イニシアチブです。SBTイニシアチブは企業に対し、産業革命前に比べて、世界の平均気温の上昇を2°C未満に抑えるという国際的な長期目標に向けて、科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標を設定することを推進しています。

このたび、当社の温室効果ガスの削減目標（以下）は、科学的根拠に基づいていることが認められ、SBT イニシアチブから承認を取得しました。

- ・ 温室効果ガスの排出量（スコープ1+2）を2017年度と比較し、2030年度までに50%削減、2050年度までにゼロにする。
- ・ 温室効果ガスの排出量（スコープ3）を2017年度と比較し、2030年度までに30%、2050年度までに60%削減する。

スコープ1: 自社での燃料使用や研究・生産プロセスからの温室効果ガス直接排出量

スコープ2: 自社が購入した電気や熱の使用による温室効果ガス間接排出量

スコープ3: スコープ1、2以外の温室効果ガス間接排出量（原料調達、製品輸送・使用・廃棄、社員の通勤・出張等）

当社は「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、革新的な医薬品の創製によって、健康で健全な社会づくりを推進していきたいと考えます。当社の事業活動が健全な地球環境に支えられて成り立っている事を認識し、環境課題の解決に向けた取り組みを強化することは企業の責任であると捉え、今後も環境負荷低減に向けて取り組んでいきます。



SCIENCE BASED TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

詳細は、「Science Based Targets(SBT) イニシアチブ」(英語)のホームページ(<https://sciencebasedtargets.org/>)をご参照ください。

以上

<本件に関する問い合わせ>

小野薬品工業株式会社 広報部

TEL : 06-6263-5670

FAX : 06-6263-2950